

富山県立滑川高等学校

学科名	学年	教科	科目	単位数	教科書	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
普通科	2年	情報	社会と情報	2	最新社会と情報(実教出版)				
科目の目標	情報及び情報技術を活用するための知識と技能を習得させ、情報に関する科学的な見方や考え方を養うとともに、社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解させ、社会の情報科の進展に主体的に対応できる能力と態度を育てる。								
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解					
月・考査等	単元名	項目名	学習到達目標	補助教材	評価方法				
4	1章 情報社会と私たち	1. 情報社会	・情報社会と情報について理解する。 ・情報化の光と影について理解する。	・授業プリント・学習ノート ・ICT学習コンテンツ(文科・総務省)	・授業への参加態度 ・授業プリントの取り組み ・学習ノートの取り組み ・実習プリントの提出	◎	○	○	
		2. 情報とメディア	・情報の特徴を知る。 ・様々なメディアの特徴を理解する。 ・メディアリテラシーの意味を理解する。	・実習プリント ・表計算ソフトウェア ・プレゼンテーションソフトウェア		◎	○	○	
5		3. 情報モラルと社会のルール	・個人に関する情報の管理と保護について理解する。 ・情報を扱う責任とモラルについて理解する。	・資料プリント ・ICT学習コンテンツ(文科・総務省)	・授業プリントファイルの提出 ・学習ノートの提出	○	◎	○	
中間考査									
6	2章 情報機器とデジタル表現	1. 情報機器とデジタル表現	・知的創作活動による知識の創出と社会での活用について理解する。 ・情報機器について理解する。	・資料プリント	・授業への参加態度 ・授業プリントの取り組み ・学習ノートの取り組み ・実習プリントの提出	○	○	◎	
		2. デジタル表現	・アナログとデジタルについて理解する。 ・2進数と情報量について理解する。 ・数値・文字の表現について理解する。 ・音声の表現について理解する。	・実習プリント、シミュレーションソフトウェア	・授業プリントファイルの提出 ・学習ノートの提出	○	○	◎	
期末考査									
7			・画像の表現について理解する。 ・情報のデータ量について理解する。	・実習プリント、シミュレーションソフトウェア					
8									
課題テ									
9	3章 表現と伝達	1. 表現の工夫	・わかりやすい情報伝達について理解する。 ・見やすくわかりやすい文書の作成ができる。	・サブテキスト「情報リテラシー」 ・文章作成ソフトウェア ・実習プリント	・授業への参加態度 ・授業プリントの取り組み ・学習ノートの取り組み ・実習プリントの提出 ・電子データの提出	○	◎	○	
10		2. 表計算ソフトウェアの利用	・データの入力ができる。 ・データの抽出ができる。 ・関数と引数が利用できる。 ・グラフが作成できる。	・サブテキスト「情報リテラシー」 ・表計算ソフトウェア ・実習プリント	・授業プリントファイルの提出 ・学習ノートの提出	○	◎	○	
中間考査									
		3. プレゼンテーション	・プレゼンテーションについて理解する。 ・多様な表現メディアの利用について理解する。 ・与えられたテーマについてプレゼンテーション制作ができる。	・サブテキスト「情報リテラシー」 ・プレゼンテーションソフトウェア ・実習プリント	・授業への参加態度 ・授業プリントの取り組み ・学習ノートの取り組み ・実習プリントの提出 ・電子データの提出	○	◎	○	
11	4章 コミュニケーションとネットワーク	1. コミュニケーション	・発達の歴史を理解する。 ・さまざまなコミュニケーションについて理解する。 ・ネットワークのコミュニケーションについて理解する。		・授業プリントファイルの提出 ・学習ノートの提出	○	○	◎	
期末考査									
12		2. ネットワーク	・ネットワークの特性やしきみについて理解する。 ・インターネットのサービスについて理解する。 ・転送速度とデータ圧縮について理解する。	・資料プリント		○	○	◎	
		3. 情報セキュリティ	・情報セキュリティ技術やポリシーについて理解する。			○	◎	○	
1									
課題テ									
	5章 情報社会と問題解決	1. 情報システムと人間	・社会における情報システムについて理解する。 ・人にやさしい情報システムについて理解する。 ・情報社会の課題について理解する。	・ICT学習コンテンツ(文科・総務省)	・授業への参加態度 ・授業プリントの取り組み ・学習ノートの取り組み	◎	○	○	
2		2. 問題解決	・問題解決の手順や手法について理解する。 ・各自がテーマをきめて問題解決に取り組むことができる。	・資料プリント ・インターネット検索 ・サブテキスト「情報リテラシー」 ・プレゼンテーションソフトウェア	・授業プリントファイルの提出 ・学習ノートの提出	○	◎	○	
学年末考査									
3			・取り組みをプレゼンテーションすることができる。		・相互評価 ・電子データの提出				